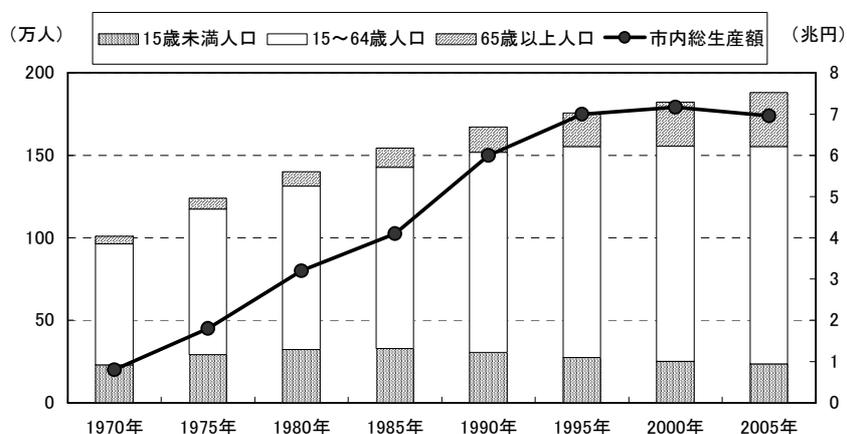


2-1-2 経済活力の低下

(1) 経済成長の鈍化

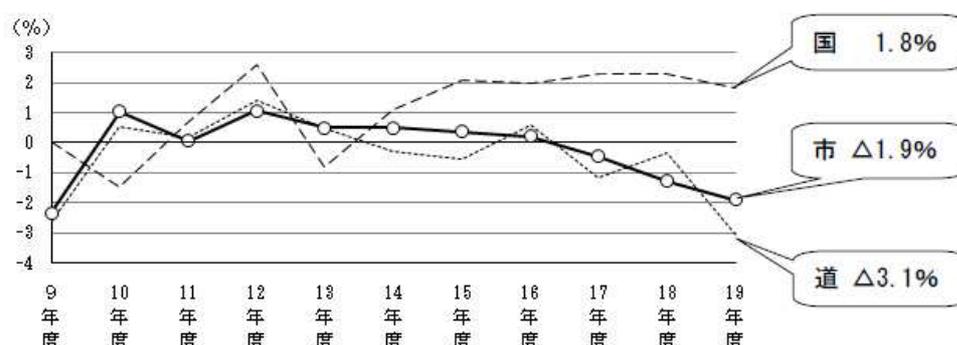
◇ 三次産業主体で高い道内シェアを占める札幌市。その経済活動は低迷。

- ・ 高度経済成長期から順調に伸びてきた市内総生産額ではありますが、近年は不景気や生産年齢人口の伸び悩みから低迷しています。
- ・ 近年の実質経済成長率は、北海道、札幌市ともに全国に比べ低い状況です。
- ・ 札幌市の産業構成は「サービス業」「卸売・小売業」などの三次産業の比率が高く、これら産業の対北海道シェアは高くなっています。(次頁図)
- ・ 北海道経済を牽引する札幌市の経済活性化が求められています。



資料：札幌市経済局資料

図 2-8 札幌市内総生産額と年齢階層別人口の推移



<資料> 内閣府「平成20年度国民経済計算」、北海道「平成19年度道民経済計算」、市長政策室政策企画部企画課

資料：2007年度（平成19年度）札幌市民経済計算

図 2-9 実質経済成長率（札幌市・北海道・全国）の推移

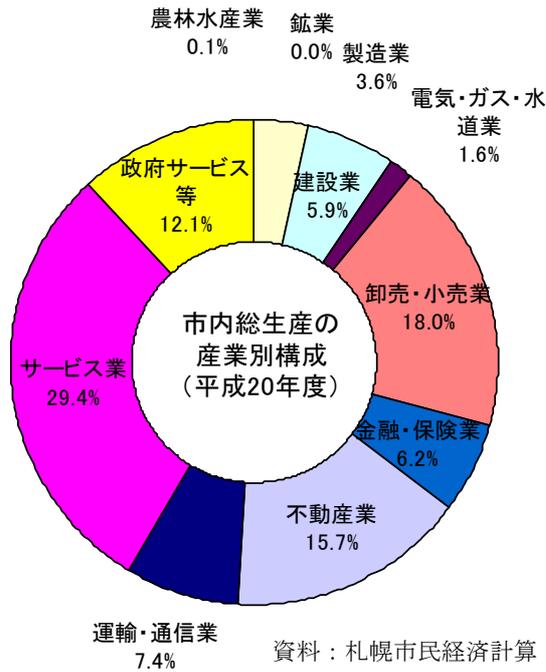
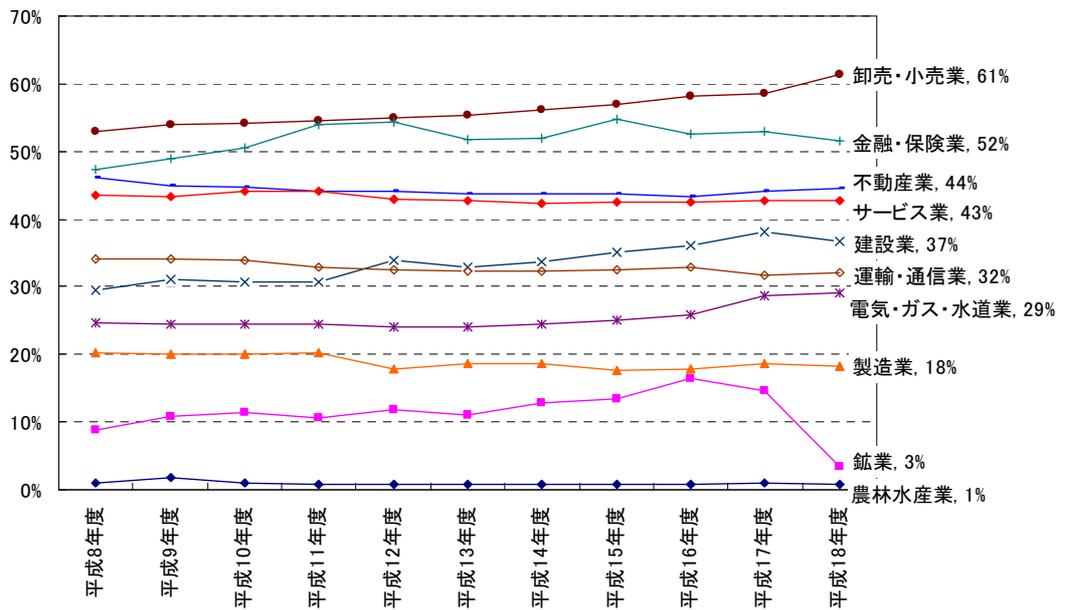


図 2-10 札幌市の経済活動別総生産の構成比推移



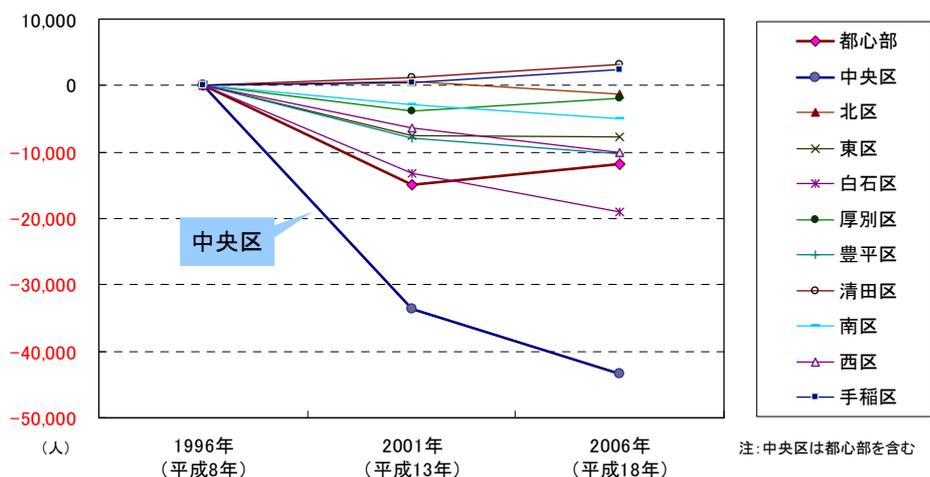
資料：道民経済計算年報（北海道）、札幌市民経済計算（札幌市）

図 2-11 札幌市内各産業の対北海道シェア推移

(2) 従業者数の変化

◇ 従業者数が減少。とくに中央区で大幅に減少。

- ・ 中央区の従業者数は大幅に減少しています。
- ・ 郊外部では従業者数の増加が見られますが、既存市街地では再開発など一部地域を除き従業者数は減少傾向にあります。



資料：事業所・企業統計調査

図 2-12 区別の従業者数の推移

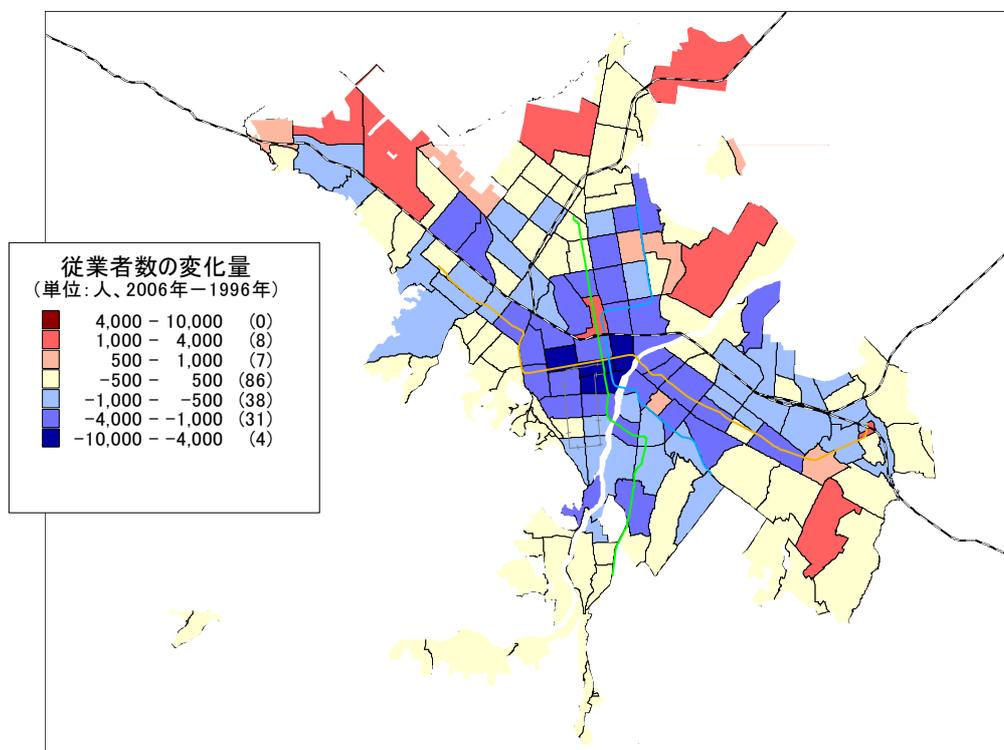


図 2-13 従業者数の地域変化

資料：事業所・企業統計調査（1996年、2006年）

(3) 商品販売額の変化

◇ 中央区の商品販売額が減少。とくに卸売販売額が大幅に減少。

- ・ 中央区の商品販売額は大幅に減少しています。
- ・ 小売販売額は大規模店舗が出店した地区で増加し、それ以外では減少傾向です。
- ・ 卸売販売額が大幅に減少しています。

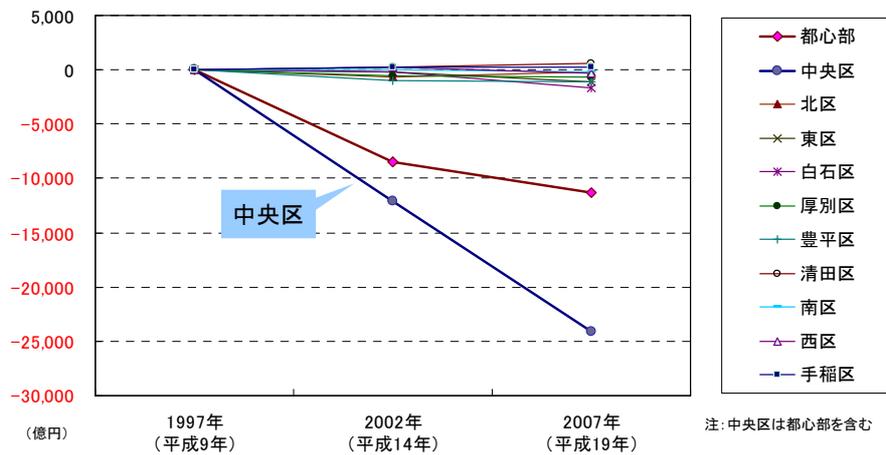
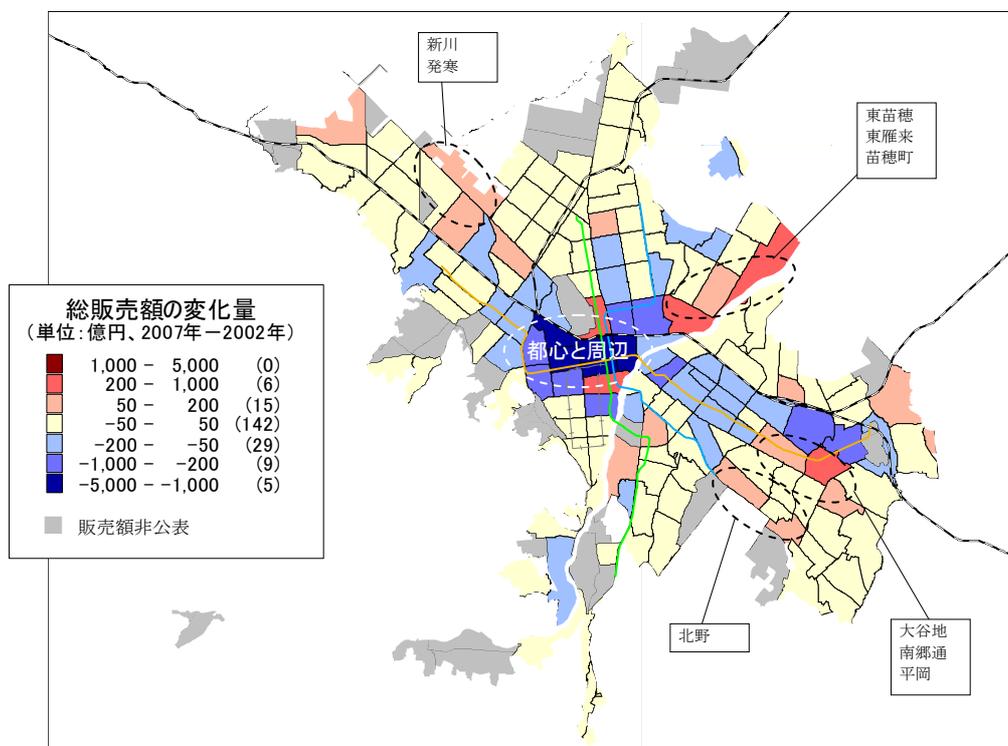
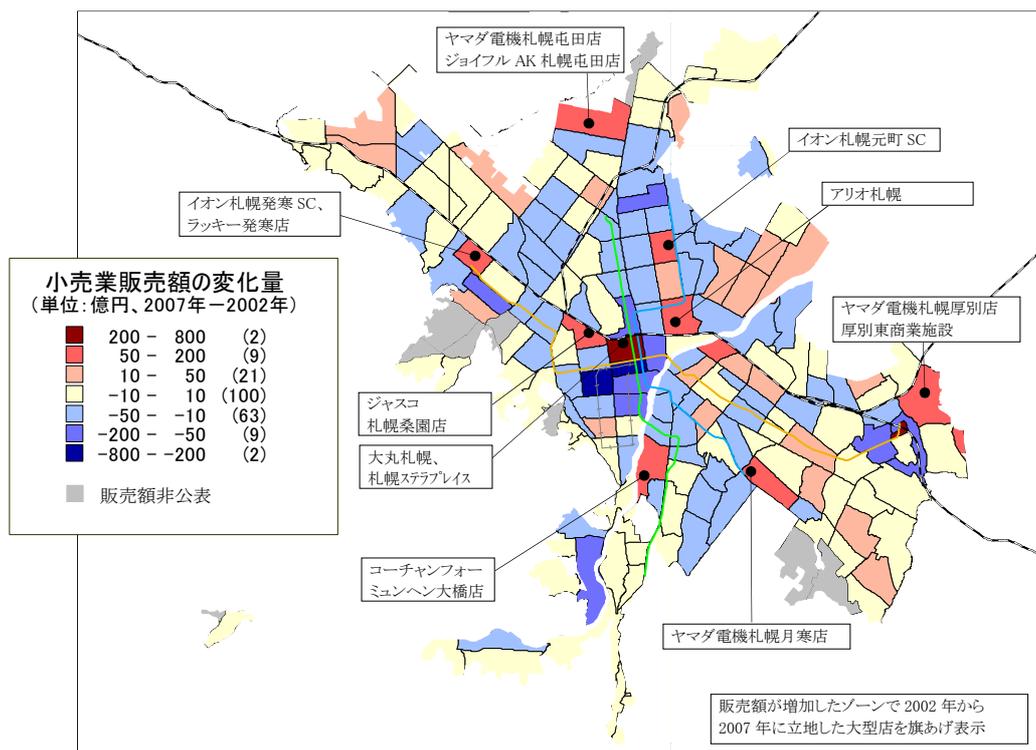


図 2-14 区別の商品販売額の変化 資料：商業統計調査



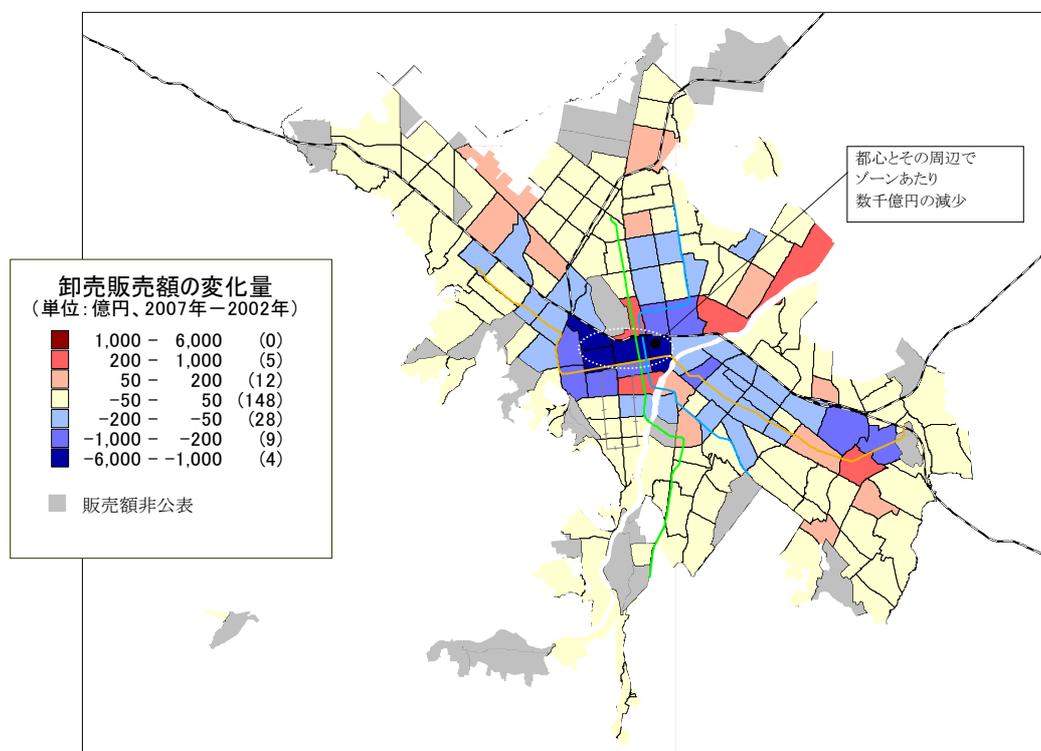
資料：商業統計調査 (2002年、2007年)

図 2-15 商品販売額 (卸売・小売の合計) の地域変化



資料：商業統計調査（2002年、2007年）

図 2-16 小売業商品販売額の変化



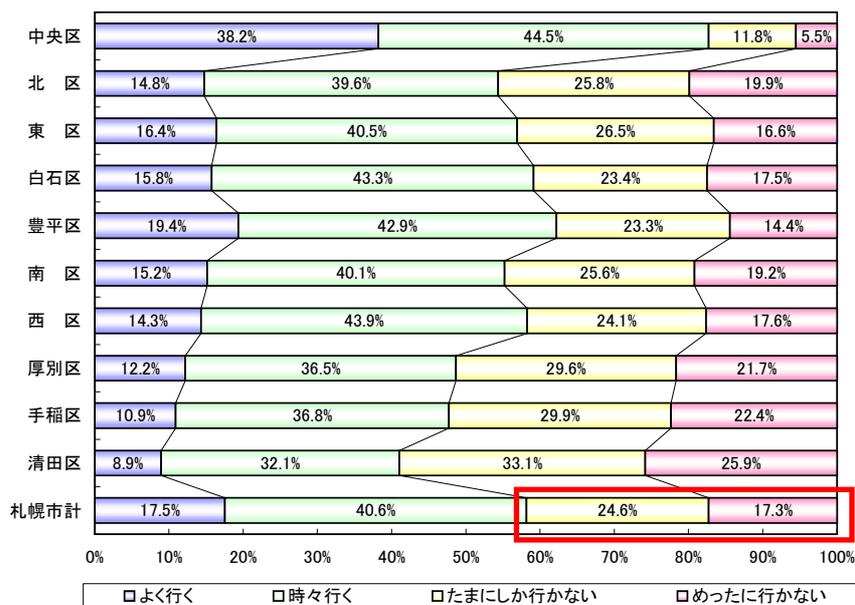
資料：商業統計調査（2002年、2007年）

図 2-17 卸売業商品販売額の変化

(4) 都心の求心力低下

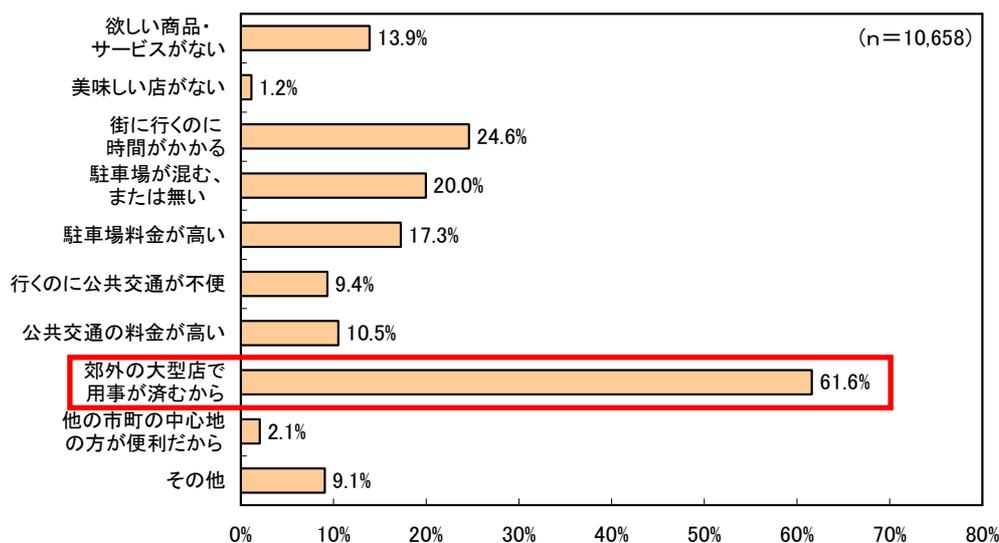
◇ 郊外大型店などの影響で都心に行かない市民も多い。

- ・ 4割の市民が「都心にめったに行かない」「たまにしか行かない」と回答しており、その理由として「郊外の大規模店で用事が済むから」を第一に挙げています。
- ・ 都心の魅力、求心力が低下しつつあると考えられ、都心の活力を向上するための施策が求められています。



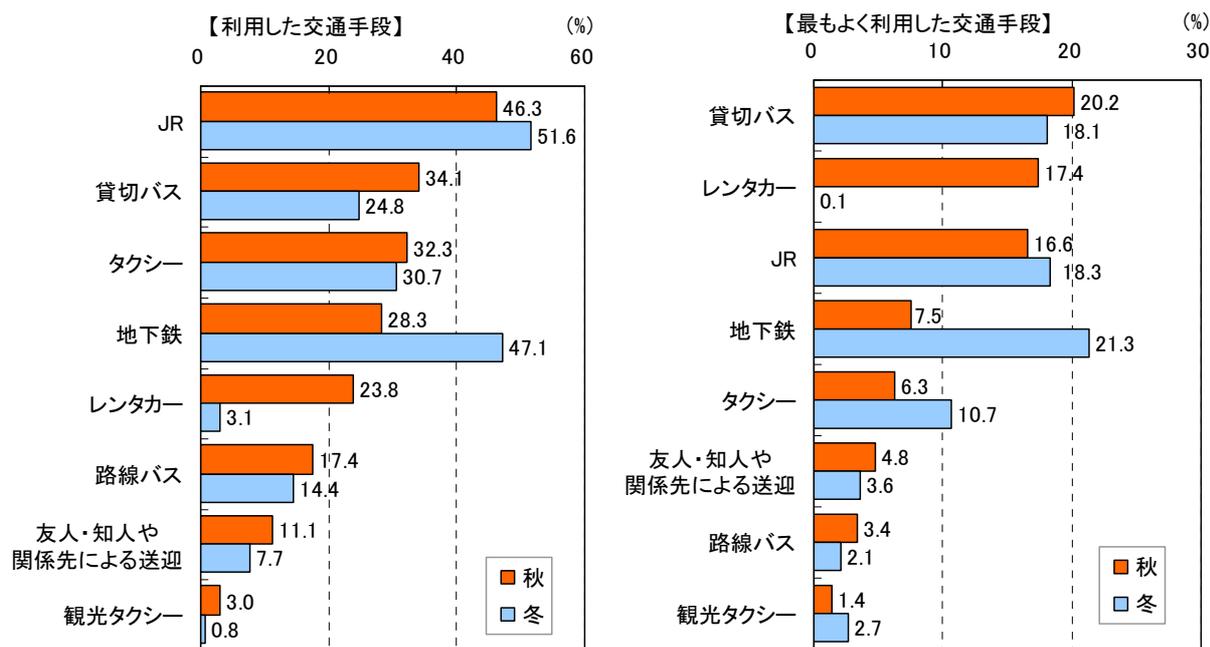
資料：第4回道央都市圏パーソントリップ調査（2006年、ライフスタイル調査）

図 2-18 中心市街地（札幌都心部）の訪問頻度



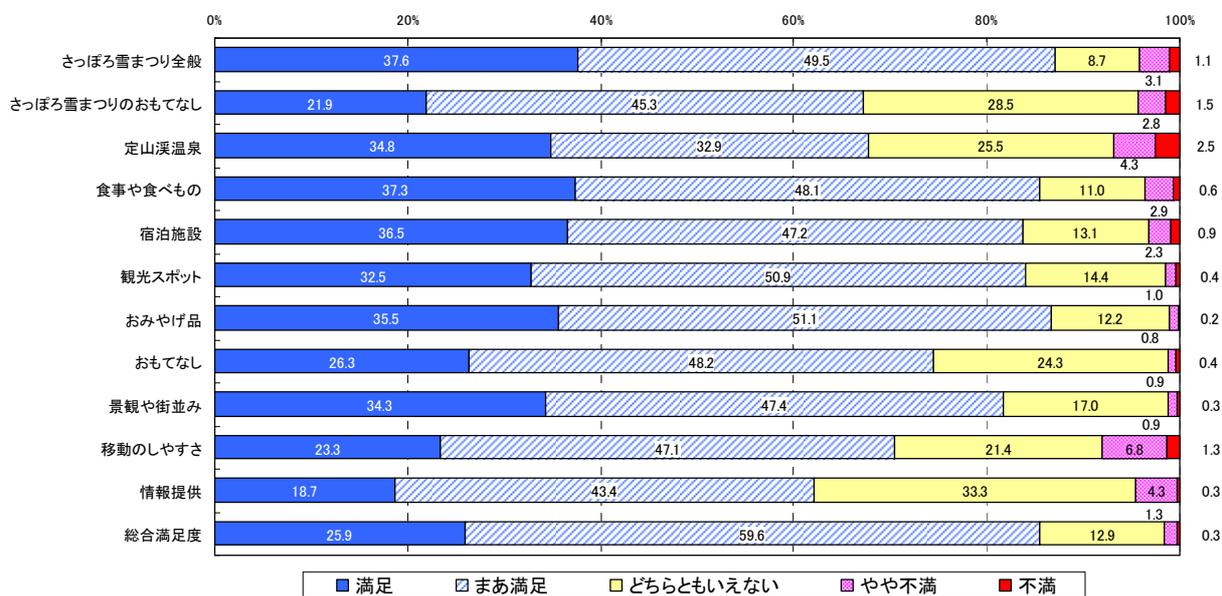
資料：第4回道央都市圏パーソントリップ調査（2006年、ライフスタイル調査）

図 2-19 中心市街地（札幌都心部）に行かない理由（複数回答）



資料：来札観光客満足度調査報告書（秋：2005年10月調査、冬：2009年2月）

図 2-23 来札観光客の交通手段



資料：来札観光客満足度調査報告書（冬：2009年2月） 注：無回答は除き集計

図 2-24 札幌滞在中における満足度